

指定校番号	31022	学級活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	福山市立東朋中学校	校長	小島 範雄	生徒指導主事	山手 寄喜宏
-----	-----------	----	-------	--------	--------

取組事例名 『自立貢献の生徒の育成』を目指した生徒会活動

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	2	「主体性・チャレンジ精神」	1	「課題発見・解決能力」	3

取組のねらい

- 生徒が考え、計画を立て、実行し、それぞれの課題の克服に向けて努力できる力を養う。
- 仲間と一緒に活動することを通して、お互いに良さを認め合い、仲間への思いやりや感謝の心を育む。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『自治』
-----------------	------------------------

○ 生徒会代議委員会を軸にした集団づくりを行った。生徒会のスローガン『ALL UP～全力で挑戦し飛躍する～』をもとに、生徒会執行部が学級代表である代議委員を集め、お互いの学級の様子を交流、学校生活の目標を設定した。学級内では、午後の学活で、1日の目標に対し、仲間がどのように取り組めたか、困っていることについて、どのように解決するかを話し合った。



○ 行事では、生徒会執行部だけでなく、学年と学級のリーダーが中心となって応援合戦や歌声練習などの練習計画を立て、声を出し、仲間を尊重した取組を行った。ボランティア委員会は、ボランティア活動の計画を立て、友人や学級や部活動で自主的に参加できる活動の場をつくった。

○ すべての生徒が安心して安全に学べるように、生徒指導規程や学校生活について、全校生徒から意見を集め、生徒会執行部会や、職員研修などを通して、生活のきまりなどを見直した。

○ 話し合っ設定した目標を、生徒も教員も共通認識を持って生活ができるように、生徒会の掲示物担当が見える場所に掲示した。また、目標だけでなく、生徒の成果物や学びの様子を掲示した。



○ 生徒会執行部だけでなく各行事でリーダー会を開き、行事などの取組の内容やきまりを、生徒が自分たちで考え、実行した。



○ 生徒会執行部が昨年度までの意見や高校・職業調べで得た情報を持ち寄り、生徒指導規程や学校生活の見直しについて話し合った。自治的な活動を推進するために、生徒総会で要望があったことを踏まえ、生徒会執行部が昇降口に意見箱を設置した。

取組の成果と課題

○ 生徒の意見を生徒会執行部、各行事のリーダーがまとめ、表現活動、生活改善に向けた啓発活動、生徒指導規程の見直し等の活動を行い、生徒が納得して学校生活を送ることができるよう取り組んだ。その結果、約9割の生徒が安心して学び、学校生活で達成感や喜びを感じることができている。その他、学級や班で話し合う場ができたことで、授業においても、生徒がお互いの考えを自然と出し合い、認め合うことができた。

1月 生徒アンケートの質問	肯定的回答 (%)
安心して学習や生活ができます。	92.4
学校生活の中で、達成感や喜びを感じることがあります	91.8
行事や生徒会活動はみんなでいっしょに頑張るよう努力しています。	88.9
身だしなみのきまりを守っています。	97.7

● 体育大会や文化祭などの行事のリーダー会では、表現の工夫や仲間の迷惑行為に対する対応についての話題が多く、教室や集団の中に入りにくい仲間への配慮や、人間関係のトラブルについての話し合いは不十分であった